I·O DATA

PC CARD規格準拠
Fast Ethernet LANアダプタ
カードバス PCカード

CBET/TX

取扱説明書

5191-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
   したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器 PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
   したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)

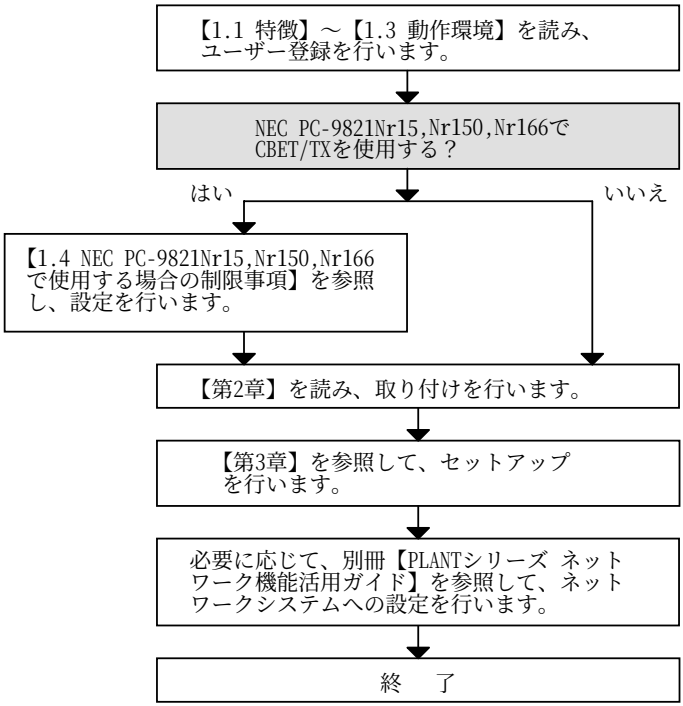
- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNT,MS,MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Ethernetは、米国 Xerox Corporationの登録商標です。
- NetWareは、米国 Novell,Inc.の登録商標です。
- ArtisoftとLANtasticは、米国 Artisoft,Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、PCカード規格(TYPE II)準拠 CardBus対応 LANアダプタカード 『CBET/TX』をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書をご覧になるにあたって

• 本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



・ **呼び方**

呼び方	意 味
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
WindowsNT4.0	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0
WindowsNT3.51	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version3.51
WindowsNT	WindowsNT4.0及びWindowsNT3.51の総称
Windows	Windows95,WindowsNT4.0及びWindowsNT3.51の総称
「ネットワークOS」または「NOS」	Network Operating System

• ハードウェア構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

《ドライブ構成》

● **PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合**

A：フロッピィディスク装置3.5インチ(1.44MB/720KB)

C：ハードディスク装置

Windows95 OSR2バージョン(4.00.950 B)がインストール済みで起動可能

D：CD-ROMドライブ

● **PC-9821シリーズの場合**

A：ハードディスク装置

Windows95 OSR2バージョン(4.00.950 B)がインストール済みで起動可能

B：ハードディスク装置

C：フロッピィディスク装置3.5インチ(1.44MB/1.25MB/720KB)

D：CD-ROMドライブ

はじめに i
目次 iii

第１章 ご使用になる前に……１

1.1 特徴 1
1.2 箱を開けたら 2
1.3 動作環境 4
1.4 NEC PC-9821Nr15,Nr150,Nr166で使用する場合の制限事項 5
1.5 取り扱い及び使用上の注意 6
1.6 実行用ディスクの作り方 8

第２章 取り付け方法……９

2.1 各部の名称 9
2.2 取り付け 10

第３章 日本語Windows95で使用するには ……１１

3.1 インストール方法 11
3.1.1 インストールの前に 11
3.1.2 インストール 13
3.1.3 インストール後の確認 17
3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項 21

付録１ 困った時には……２４

付1.1 一般的なエラー 24
● 「CBET/TX診断プログラム」でのトラブル 24
● Windows95上でのトラブル 27
付1.2 他のPCカードと同時に使用する場合 29

付録２　仕様……３０

付2.1　パソコン環境……30
付2.2　ハードウェア仕様……33

PLANTコールセンターへのお問い合わせ……34
サポートソフトのバージョンアップ……35
修理について……36

第1章 ご使用になる前に

この章では、CBET/TXをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

●Ethernet IEEE 802.3uに準拠しています。

●PCカードスタンダードCardBus規格(TYPE II)に準拠しています。

●メディアタイプ(RJ-45[100BASE-TX]とRJ-45[10BASE-T])を自動的に判別します。

●バスマスタ機能と32ビットデータ転送で高速なネットワーク環境を提供します。

●Full-duplex機能に対応しています。
Full-duplex機能に対応しているスイッチングハブなどと組み合わせることにより同時にデータの送受信が行え、より高いパフォーマンス（理論値:2倍[環境によって異なります。]）が得られます。

●Windows95 OSR2バージョンのみに対応しています。
(Windows95上の設定により、他のネットワークシステム[WindowsNT,NetWere]にログイン可能です。)

1.2 箱を開けたら

- **同梱構成品**

No.	内容物	個数	備考
1	LANアダプタカード	1枚	CBET/TX
2	サポートソフトウェアディスク	1枚	3.5インチ2HD(1.44MB)
3	中継コネクタ	1個	
4	LAN接続ケーブル	1本	
5	取扱説明書	2冊	CBET/TX取扱説明書(本書) PLANTｼﾘｰｽﾞﾈｯﾄﾜｰｸ機能 活用ｶﾞｲﾄﾞ
6	Verシール	1枚	
7	ハードウェア保証書	1枚	
8	ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
9	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
10	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

※本製品を使用するには、別途100BASE-TX/10BASE-T用のカテゴリ5の非シールドツイストペアケーブルまたはシールドツイストペアケーブルが必要となります。
弊社製 LATPシリーズをお買い求めください。

万が一、不足品がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

• ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（インターネット http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1) **添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。**
2) **ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。**



注 意

1) 弊社では、PLANTコールセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。
2) ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

1.3 動作環境

ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

• 対応機種

PCカードスタンダードCardBus(TYPE II)に対応したPCカードスロットを持つ※1

下記の機種

・PC98-NXシリーズ

・DOS/Vマシン※2

・PC-9821シリーズ

※1 弊社製 CardDock2-EX/DV,CardDock/DV及びCardDock2-EX/98,CardDock/98上ではご利用いただけません。

※2 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

• ＯＳ環境

日本語Windows95 OSR2バージョン(4.00.950 B以降)

• 対応ＮＯＳ環境

●日本語Windows95のネットワーク機能は、以下のクライアント・サーバ型システムのクライアントとしてご利用になれます。

日本語Windows95・日本語WindowsNT・NetWereサーバ

●日本語Windows95のネットワーク機能は、以下のピア・ツー・ピア型ネットワーク構成に組み込むことが可能です。

日本語Windows95,日本語WindowsNT,
LANtastic for Windows95(LANtastic 6.0)

●日本語Windows95のネットワーク機能は、NDIS3上のネットワークプロトコルがご利用になれます。

1.4 NEC PC-9821Nr15,Nr150,Nr166で使用する場合の制限事項

NEC PC-9821Nr15,Nr150,Nr166で使用する場合は、以下の設定が必要となります。

1 省電力モードを「フルパワー」に設定します。(パソコン起動時の設定)

1.「98NOTEﾒﾆｭｰ」を起動し、『ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ』の「省電力の設定」を選択します。
2.「省電力ﾓｰﾄﾞ」を「ﾌﾙﾊﾟﾜｰ」に設定します。

2 「ﾊﾟﾜｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」の設定を変更します。(Windows95起動時の設定)

1.「『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙ　ﾊﾟﾈﾙ』の[ﾊﾟﾜｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ]アイコンをダブルクリックし、「電源のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面を開きます。
2.「ﾊﾟﾜｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」タブを選択し、「Windowsでｺﾝﾋﾟｭｰﾀの電源管理をする」チェックボックスのチェックを外します。
3.「ﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞ」タブを選択し、「電源がAC電源の場合」チェックボックスのチェックを外し[OK]ボタンを押します。
4.Windows95を再起動してください。

3 メモリ資源の予約をします。(Windows95起動時の設定)

1.『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙ　ﾊﾟﾈﾙ』の[ｼｽﾃﾑ]アイコンをダブルクリックし、「ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面を開きます。
2.「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」タブを選択し、「種類別に表示」を選択し「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」をダブルクリックします。

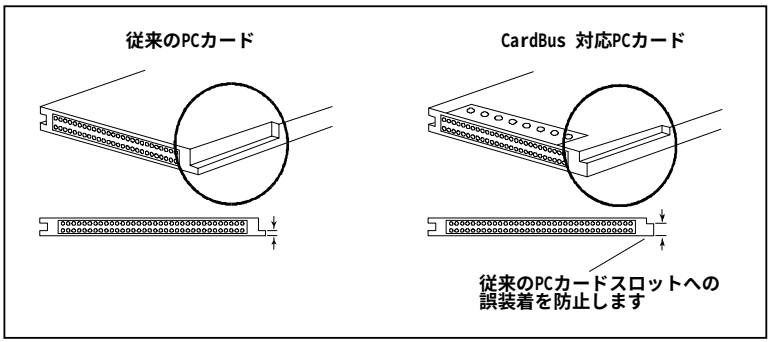


3.「ﾘｿｰｽの予約」タブ内の「ﾒﾓﾘ」をチェックし、[追加]ボタンを押します。
4.「開始の値」に“00F00000”、「終了の値」に“00F7FFFF”を入力し[OK]ボタンを押します。
5.「注意ﾒｯｾｰｼﾞ」が表示された時は[OK]ボタンを押し、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」の[OK]ボタンを押します。

この後、Windows95を再起動してください。

1.5 取り扱い及び使用上の注意

・ 本製品は、CardBus対応のPCカードです。CardBus対応のPCカードは、従来のPCカードスロットへの誤装着防止のため、下図のようにコネクタ形状が異なります。パソコンの機種によっては、CardBus対応のPCカードスロットが限定されている場合がありますので、詳細についてはパソコン本体の取扱説明書を参照し、CardBus対応以外のPCカードスロットには装着しないでください。故障の原因となります。



・ 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱ってください。

・ 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。

・分解や改造などをしないでください。

・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

・ 保証について

◎ 保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎ 保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

1.6 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスク（以下サポートディスク）は必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。

1 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピィディスク(3.5インチ2HD)を用意します。

2 サポートディスクを書き込み禁止にします。

3 Windows95の『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の「3.5ｲﾝﾁ FD」を右クリックし、「ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ」を選択します。

(フロッピィディスクドライブがAドライブの場合)



4 サポートディスクと空きフロッピィディスクをメッセージに従って入れ替えながら、バックアップを取ります。

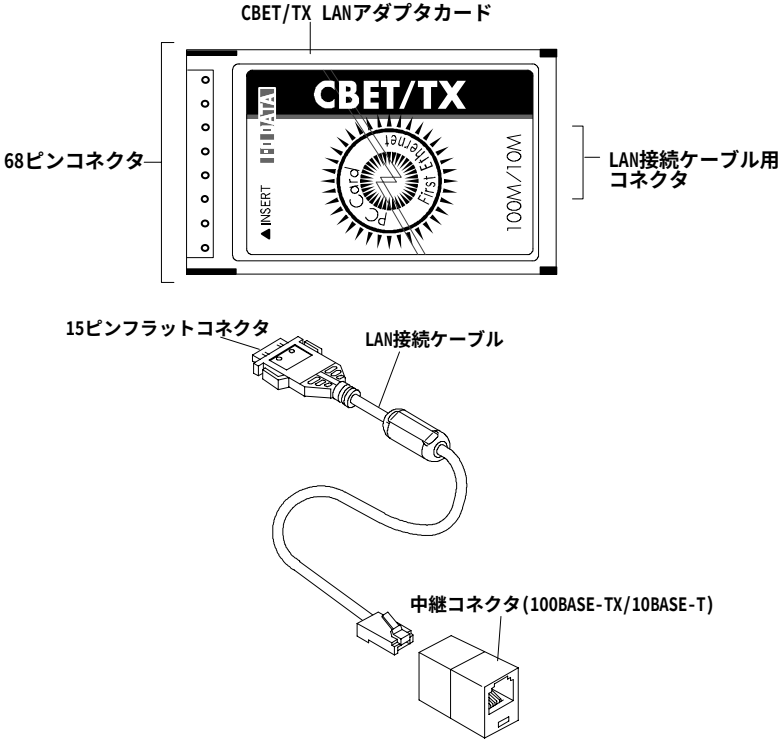
注 意

サポートディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートディスクは大切に保管してください。

第2章 取り付け方法

この章では、CBET/TXをネットワークに接続します。
パソコン本体への接続及びインストール方法等については、この後の〔第3章 日本語Windows95で使用するには〕で説明を行います。

2.1 各部の名称

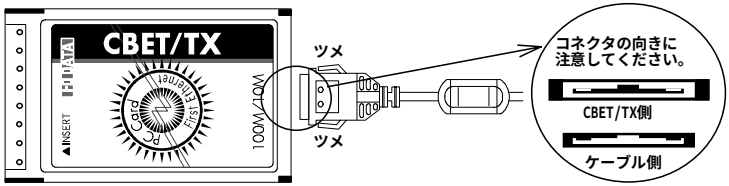


2.2 取り付け

1 パソコンの電源スイッチを切ります。

2 添付のLAN接続ケーブルに中継コネクタを取り付けます。

3 LAN接続ケーブルをCBET/TXのLAN接続ケーブル用コネクタに接続します。
（CBET/TXのコネクタと15ピンフラットコネクタの向きに注意して、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。）



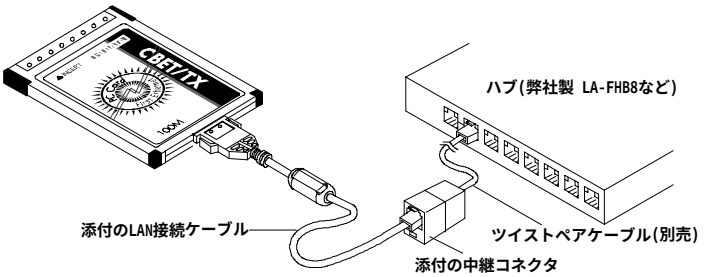
注 意

CBET/TXから接続ケーブルを取り外す際は、接続ケーブルの両側のツメを押しながら水平にカードから抜いてください。

4 下図を参照し、CBET/TXをネットワークに接続します。

注 意

ハブ[弊社製 LA-FHB8等]との接続には、100BASE-TX/10BASE-T用のカテゴリ5の非シールドツイストペアケーブルまたはシールドツイストペアケーブルをお使いください。(ツイストペアケーブルについては、別途お買い求めください。[弊社製 LATPシリーズ])



次に［第3章 日本語Windows95で使用するには］を参照してインストールを行ってください。

第3章 日本語Windows95で使用するには

この章では、ネットワークに接続したCBET/TXをパソコンに接続し、Windows95で使用するための手順について説明します。
CBET/TXをWindows95で使用するには、CBET/TXのWindows95用ドライバのインストール及びネットワークの設定が必要です。この章では、Windows95へのドライバのインストール方法及び各種ネットワークへの接続方法について説明します。

注 意

CBET/TXをパソコン本体に取り付ける前に、まず以下の「3.1.1 インストールの前に」を確認してください。その後、LAN接続ケーブルを接続したCBET/TXをCardBus対応のPCカードスロットに挿入します。

3.1 インストール方法

3.1.1 インストールの前に

インストールの前に以下の内容をご確認ください。

- **Windows95バージョン番号の確認**
  Windows95 OSR2バージョン（4.00.950 B）以外では使用できません。まず以下の方法でWindows95のバージョンを確認してください。

＜確認方法＞

デスクトップ上の「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンにマウスカーソルを合わせてマウスの右ボタンを押し(1)、現れたメニューから「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」を選択します(2)。「ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」に表示される番号を確認してください(3)。

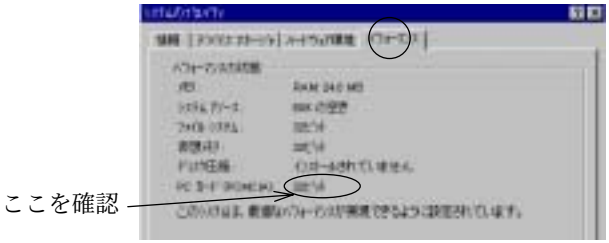


- **PCカードのドライバがCardBus対応か確認**

  前ページの『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ」タブを選択します。「PCMCIA ｿｹｯﾄ」のドライバにCardBus対応のドライバ(CardBus Controller)が組み込まれていることを確認してください。CardBus対応のドライバ以外では、正常に動作いたしません。

- **PCカードのドライバの確認**

  前ページの『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ」タブを開きます。
  「PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)」のドライバが32ビットであることを確認してください。



  32ビットになっていない場合は、『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の[PCｶｰﾄﾞ]アイコンをダブルクリックしてください。PCカードウィザードが起動されますので、画面の指示に従って実行していただくと32ビットに変わります。

- **使用するPCカードスロットが“CardBus”モードか確認**

  パソコンの機種によっては、PCカードスロットのモードを“CardBus”モードと従来の“PCIC 互換”モードに設定できる場合があります。
  CBET/TXを使用する際は、“CardBus”モードに設定してください。(パソコン本体の取扱説明書 参照)

- **Windows95のインストールイメージファイルの確認**

  Windows95のインストールイメージファイル(拡張子“CAB”)のあるフォルダ名を以下の手順で確認しておいてください。

＜確認方法＞

  『ｽﾀｰﾄ』→『検索』→『ﾌｧｲﾙやﾌｫﾙﾀﾞ』を選択し、「名前と場所」タグを開きます。「名前:」に「win95_*.cab」を入力し、[検索開始]ボタンを押します。
  Windows95のインストールイメージファイル(拡張子“CAB”)のあるフォルダ名を確認※してください。
  ※Windows95を再インストールした等の理由で、Windows95のインストールイメージファイルが削除されている場合は、Windows95のCD-ROMファイルまたはバックアップフロッピィディスクをご用意ください。

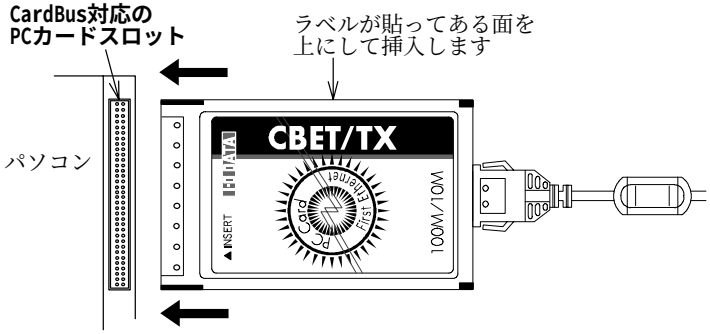
3.1.2 インストール

注意

参考

1)Windows95を使用中でもCBET/TXを取り外すことが可能です。
ただし、その場合は、PCカードを抜くための操作を行ってください。その操作を行わずにCBET/TXを抜くと予期しない障害が発生する可能性があります。詳細は［3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項］(P21)を参照してください。
また、その際、CBET/TXを使用しているLANのネットワークを使用していない(他のネットワークにアクセスしていない及び他のネットワークからアクセスされていない)事を確認してください。
2)パソコンにCBET/TXが挿入されたままの状態で、ケーブルの取り付け取り外しは行わないでください。
3)CBET/TXはCardBus対応のPCカードです。CardBusに対応していないPCカードスロットへは、コネクタ形状の違いにより装着できません。

1 **Windows95起動後、ネットワーク接続したCBET/TX（詳細は［2.2 取り付け］(P10)を参照）をCardBus対応のPCカードスロットに適切に装着されることを確認しながら押し込みます。**



2 **CBET/TXが新しいハードウェアとして認識され、『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面が表示されます。「CBET/TXサポートソフト」ディスクをフロッピィドライブに挿入し、[次へ]ボタンをクリックしてください。**



注 意

インストールが正しく終了した場合、次回からこの画面は表示されません。もし、インストールを行っていないのに、CBET/TXをPCカードスロットに挿入してもこの画面がでない場合は、以下の原因が考えられます。

① CBET/TXをCardBus対応のPCカードスロットに正しく挿入していない
（CBET/TXの向きが違う、CardBus対応のPCカードスロットに奥まで挿入していない、CardBusに対応していないPCカードスロットに挿入している。）

② PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)のドライバが32ビットになっていない
（[・ PCカードのドライバの確認 (P12)を参照し、確認してください。）

3 「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用の更新されたﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりました。I-O DATA CBET/TX....」では、[完了]ボタンをクリックしてください。ファイルのコピーを開始します。



「CBET/TXサポートソフト」ディスクをフロッピィドライブに挿入していなかった場合は、上記の画面は表示されず、以下の「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用のﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりませんでした。」と表示されます。[戻る]ボタンをクリックし、ディスクを挿入して再度手順2から行ってください。



4 **途中でWindows95のCD-ROMを要求された場合、[3.1.1 インストールの前に] の・(P12)で確認したWindows95のインストールイメージファイルのフォルダ名を指定してください。**
Windows95のインストールイメージファイルがない場合は、準備したCD-ROMを入れ、

d:\win95 (下線部入力:CD-ROMドライブがDドライブの場合)

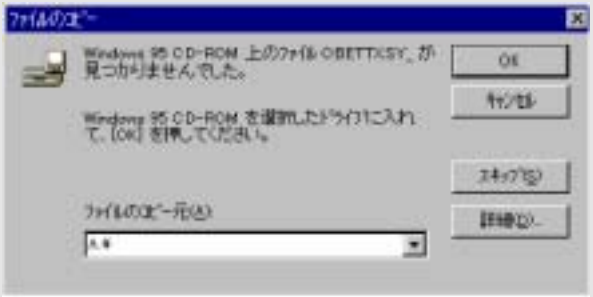
と入力してください。

この後、画面の指示に従ってください。

注 意

上記のCD-ROM等からのファイルコピーの途中で
「Windows95 CD-ROM 上のﾌｧｲﾙ CBETTX.SY_が見つかりませんでした。」
とエラー表示された場合は、以下の例のフロッピィドライブのパス指定を行い、[OK]ボタンを押してください。

例) A:\ (下線部入力:フロッピィドライブがAドライブの場合)



5 **必要なファイルがコピーされると、インストールが終了します。**
CBET/TXは挿入したまま、一旦Windows95を再起動してください。

以上でインストールは終了です。
次に、正常にインストールされたかの確認を行ってください。([3.1.3 インストール終了後の確認] (次ページ)参照)
正常にインストールされていれば、次回からは、CBET/TXをパソコンに接続した時点で、パソコンが動作中であってもCBET/TXは正しく認識され、CBET/TXが使用できるようになります。

注 意

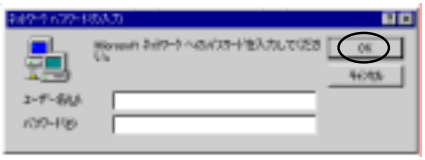
Windows95使用中にPCカードの動作を終了しないで、CBET/TXをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。CBET/TXをPCカードスロットから取り外す際には、[3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項] (P21)を参照してください。

3.1.3 インストール後の確認

ここではCBET/TXがWindows95で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。インストール終了（再起動）後、必ず以下の事を確認してください。

パソコンを再起動すると起動途中で以下のA画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
起動後、デスクトップ上に、「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンが追加されたことを確認してください。（以下のB画面）

A　「ﾈｯﾄﾜｰｸﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力」画面



B「ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ」上の
「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコン



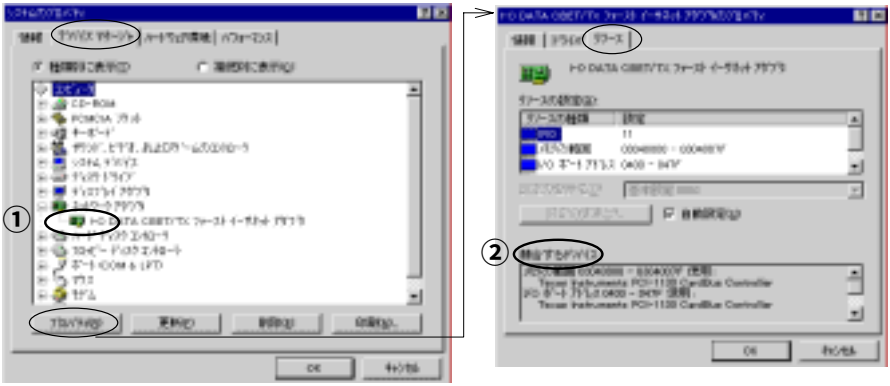
参考

1)上記A画面やBのアイコンが表示されない場合は、【3.1.3 インストール後の確認】を終了後、別冊の「PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド」を参照して使用するネットワークを設定してください。
2)Windows95では、パスワード管理も一元化されています。ユーザーID、パスワードを利用するネットワークで同一にしておけば、1つのネットワークにログインすれば、他のネットワークにユーザIDとパスワードの入力なしでログインできます。

次に、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、「ｼｽﾃﾑ」アイコンをダブルクリックします。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」タブで「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をダブルクリックします。（次ページの画面参照）

[確認1]　「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の「I-O DATA CBET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に、！マークが付いていないことを確認してください。

[確認2]　「I-O DATA CBET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択後、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックし、『I-O DATA CBET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、競合するデバイスがCardBus Controller以外にないことを確認してください。



参照

！マークがついていたり、デバイスが競合していた場合（ただしCardBus Controllerとの競合であれば、特に問題はありません）は、【付録1】の「● Windows95上でのトラブル」(P27)を参照してください。

● CBET/TX診断プログラム

「CBET/TX診断プログラム」は、CBET/TXのネットワーク機能のテストを行います。

注意

CBET/TX診断プログラムは、ネットワークプロトコルのTCP/IP(プロパティでNetBIOSを有効にしてください。選択できない場合は、既に有効になっています。)が設定されていることが前提です。
詳細は【付録1 困った時には】(P24)を参照してください。

1 「CBET/TXサポートソフト」ディスクをフロッピィドライブに挿入し、CBETDIAG.EXEを実行します。

2 「README.TXT」と「CBET/TX診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」画面が表示されますので、まず「README.TXT」をお読みください。

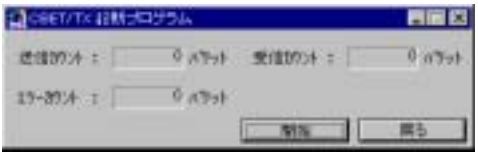
3 次に「CBET/TX診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」画面の[ﾃｽﾄ]ボタンを押し、ネットワーク機能テストを開始してください。



参照

「TCP/IPｴﾗｰ」または「ｴﾗｰ」が表示された場合は、【付録1 困った時には】(P24)を参照してください。

4 以下の画面が表示されます。[開始]ボタンを押すと、送信カウント、受信カウントが増えていきます。



参照

エラーがある場合はエラーカウントが増えていきます。
エラーカウントが100カウントになると以下の画面が表示されます。



[OK]ボタンを押して終了させてください。次に【2.2 取り付け】の手順4(P10)を再度確認し、ツイストペアケーブルが正しく接続されているか確認してから、再起動またはカードの挿し直しをしてください。
それでもまだエラーが出る場合は、ネットワークを使用するアプリケーションが起動している場合があります。起動している場合は、終了させてください。

5 2000カウントを超えてエラーがない場合、以下の画面が表示されます。
[OK]ボタンを押し、「CBET/TX診断プログラム」を終了します。



インストール後の確認は以上です。

● ネットワークシステムへの設定について

インストール後の確認がすべて正常ならば、Windows95でCBET/TXが使用できます。この後、Windows95同士のピア・ツー・ピア接続や各種ネットワークシステム(NetWare,WindowsNT,LANtastic for Windows95)のクライアントとして使用する場合は、必要に応じて以下を参照してください。

● ピア・ツー・ピア接続の設定

別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド』の〔1.2 ピア・ツー・ピア接続の設定〕を参照してください。

● 各種ネットワークシステムへの接続

別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド』の〔1.3 各種ネットワークシステムへの接続〕を参照してください。

● サスペンド／レジュームについて

CBET/TXをPCカードスロットに装着した状態で、Suspend/Resume機能を使用しないでください。予期しない障害が発生する恐れがあります。

3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項

Windows95を使用中でもCBET/TXを取り外すことができます。

ただし、PCカードの動作を終了せずにCBET/TXをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

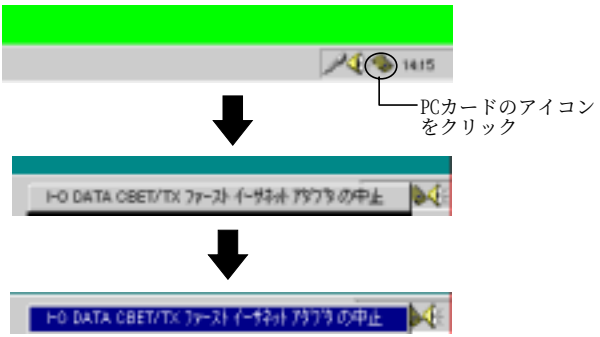
CBET/TXを取り外す際には、次ページの「・ CBET/TXの取り外し方法－その1」または「・ CBET/TXの取り外し方法－その2」(P23)の手順に従って行ってください。

またCBET/TXを取り外す場合は、CBET/TXを使用しているLANのネットワークを使用していない(他のネットワークにアクセスしていない及び他のネットワークからアクセスされていない)事を確認してから取り外してください。

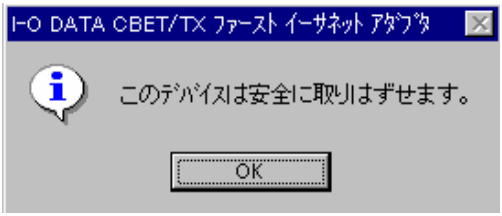


• CBET/TXの取り外し方法－その1

1 タスクバーのPCカードのアイコンをクリックし、「I-O DATA CBET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀの中止」を選択後、クリックします。



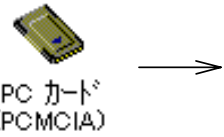
2 次の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



3 CBET/TXをPCカードスロットから取り外してください。
再度CBET/TXを使用する場合は、PCカードスロットに挿入すれは使用できます。

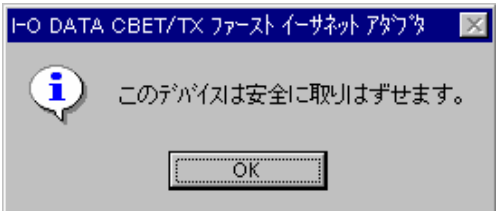
• CBET/TXの取り外し方法－その2

1 『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の[PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)アイコンをダブルクリックします。『PC ｶｰﾄﾞ(PCMCIA)のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面が表示されます。
取り外すCBET/TXを選択して、[終了]ボタンをクリックします。





2 次の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



3 CBET/TXをPCカードスロットから取り外してください。
再度CBET/TXを使用する場合はPCカードスロットに挿入すれは使用できます。

付録1 困った時には

CBET/TXが異常になる理由は様々です。(ネットワーク回線が接続されていないなど、ユーザーによって容易に改善できる場合もあります。)
この章では、個々の共通のトラブルを解決するヒントを提供します。

付1 1 一般的なエラー

● 「CBET/TX診断プログラム」でのトラブル

「CBET/TX診断プログラム」が立ち上がらない。

原因1 CBET/TXがCardBus対応のPCカードスロットに正しく取り付けられていない。または、ケーブルの接続が悪い。

対処 CBET/TXがパソコンのCardBus対応のPCカードスロットに適切に装着されているか調べてください。
また、ケーブルの接続が緩んでいないか、ケーブルの種類(クロスケーブルとストレートケーブル)が間違っていないかネットワーク回線を調べ、再起動または、カードの挿し直しをしてください。

原因2 パソコンのCardBus対応のPCカードスロットに異常がある。

対処 トラブルが起きているCBET/TXを別のCardBus対応のPCカードスロットに取り付けるか、他のパソコンのCardBus対応のPCカードスロットに取り付けてください。
もし、これでトラブルが解決される場合は、トラブルが起きているパソコン本体のCardBus対応のPCカードスロットに異常があることになります。ネットワークシステム管理者またはパソコンの販売店にご相談ください。

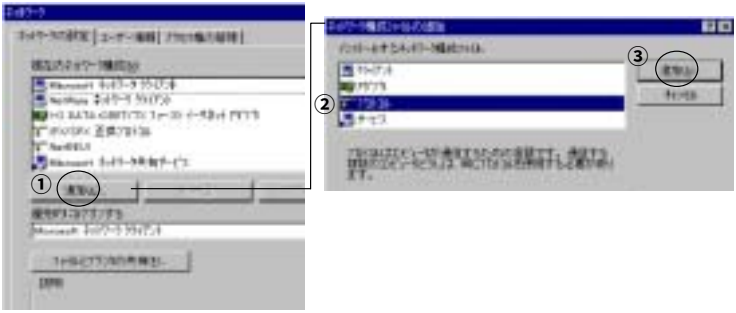
「CBET/TX診断プログラム」の実行ができない。

原因1 TCP/IPがバインドされていない。IPアドレスが設定されていない。

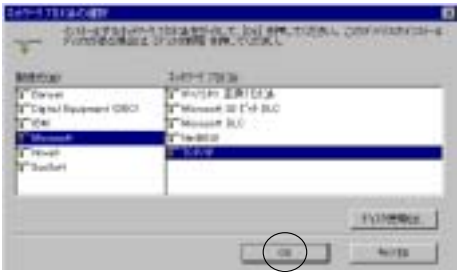
対処 次の手順に従って、TCP/IPのバインド及びIPアドレスを設定してください。

1.『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックします。

2.「ﾈｯﾄﾜｰｸ」画面が表示されるので、①[追加]ボタンを押し、「ﾈｯﾄﾜｰｸ構成ﾌｧｲﾙの追加」画面で②「ﾌﾟﾛﾄｺﾙ」を選択後、③[追加]ボタンを押してください。



3.「ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙの選択」画面が表示されるので、
製造元：「Microsoft」、
ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙ：「TCP/IP」を選択し、[OK]ボタンを押してください。



4.「ﾈｯﾄﾜｰｸ」画面に戻ります。追加されたTCP/IPを選択し、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンを押してください。



5.「TCP/IPﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面が表示されます。①「NetBIOS」タブを選択し、「TCP/IP上で、NetBIOSを使用可能にする」をチェックして有効にしてください。次に、②IPアドレスを設定し[OK]ボタンを押してください。(IPアドレスの設定に関しては、ネットワークシステム管理者にご相談ください。)



(ネットワークシステム上でTCP/IPを使用していない場合は、IPアドレスのローカルアドレス([192.168.x.x]xは1～254の任意の数字)を使用してください。ただし、複数台で同じアドレスを設定しないように充分注意してください。)

原因2　ケーブルの接続が悪い。

対処　接続が緩んでいないか、またはケーブルの種類(クロスケーブルとストレートケーブル)が間違っていないかネットワーク回線を調べ、再起動または、カードの挿し直しをしてください。

● Windows95上でのトラブル

1)Windows95起動途中などでアダプタが異常のエラーとなる。その他Windows95上でCBET/TXが正常に動作しない。
2)インストール後の確認で、「I-O DATA CBET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に「！マーク」がある。またはデバイスが競合している。

原因 CBET/TXのリソース（「I/O ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」,「割り込み」）の設定が間違っている。

対処 【3.1.3 インストール後の確認】(P17)を参照し、CBET/TXがWindows95で正常に認識されているか確認してください。

[確認1]で！マークが付いていた場合は、[削除]ボタンで「I-O DATA CBET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を一旦削除後、再度【3.1 インストール方法】(P11)を参照してCBET/TXのドライバをインストールしてみてください。

[確認2]でリソースが競合している場合は、以下を参照してリソースを変更してみてください。

・リソースの変更

『I-O DATA CBET/TXのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、[自動設定]チェックボックスのチェックを外します。



1.「I/O ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」の変更は、ﾘｿｰｽの種類]の[I/O ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ]をクリックし、次に「設定の登録名」の基本設定の一覧から選択して変更できます。



2.「割り込み(IRQ)」の変更は、『I-O DATA CBET/TX』画面の[ﾘｿｰｽの種類]の[IRQ]をダブルクリックして変更できます。



付1.2 他のPCカードと同時に使用する場合

他のCardBus PCカードと同時に使用する場合

他のCardBus PCカードと同時に、使用できないパソコンがあります。
現時点(1997年7月現在)で、同時使用出来ないことが確認されているのは、下記のパソコンです。
ただし、従来のPCカード(CardBus以外)との同時使用は、問題ありません。

- EPSON PROSPERT N13FA,N15GX
- NEC PC-9821Nr15,Nr150,Nr166,Nw133,Nw150
- FUJITSU FMV-5150NA3/W,5133NP5/W,5133NP/W
- パッカードベル NEC ジャパン Versa6035H,Versa6050MH
- SANYO Winkey MBC-S770

16bit PCカードと同時に使用する場合

最初にCBET/TX(または16bit PCカード)を挿入し、OSの起動後に16bit PCカード(またはCBET/TX)をPCカードスロットに挿入してください。
CBET/TXと16bit PCカードを同時にPCカードスロットに挿入しOSを起動すると、OS起動中に止まってしまう場合があります。

付録2 仕様

ここではパソコンの環境状況、及びCBET/TXの仕様について記述します。

付2.1 パソコン環境

CBET/TXの「割り込み」「I/Oポートアドレス」がパソコン本体や他のPCカードと重複していると、パソコン本体が起動できなくなる場合があります。
この場合は、PCカードを全て取り外してから各PCカードの設定状態を確認し、重複しないように設定し直してください。

・PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝ本体の割り込み、DMA、I/Oポートアドレス使用状況(一例)

パソコン本体		IRQ	DMA	I/O Port Address(備考)
タイマー		0		
キーボード・コントローラ		1		0060h～0067h
IRQ8～15のカスケード接続用		2		(IRQ9と併用不可能)
RS-232C	(COM4)	3		2E8h～2EFh
	(COM2)			2F8h～2FFh
	(COM3)	4		3E8h～3EFh
	COM1			3F8h～3FFh
(LPT2またはサウンド機能)		5		LPT2の場合 278h～27Fh サウンド機能の場合 200h～207h, 220h～233h, 330h～331h, 388h～39Fh
FDDコントローラ		6	2	3F0h～3F7h
LPT1		7		378h～37Fh
リアルタイムクロック		8		
未使用(IRQ2にリダイレクト接続)		9		(IRQ2と併用不可能)
未使用		10		
未使用		11		
(PS/2マウスポート)		12		0060h～0067h
数値演算コプロセッサ(80287)		13		
プライマリIDEドライブコントローラ	drive0	14		1F0h～1F7h
	drive1			3F6h～3F7h(FDと共有)
(セカンダリIDEドライブコントローラ)	drive2	15		170h～177h
	drive3			376h～377h



注 意

パソコン本体の仕様により、異なる場合があります。取扱説明書などを参照して確認してください。

・PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝ用各種カードのI/Oポートアドレス使用状況（一例）

PCカード	I/Oポートアドレス
PCSC-V	E0D8h～E0DFh、F0D8h～F0DFh、338h～33Fh、308h～30Fh より選択
PCFM,PCML シリーズ	3F8h～3FFh、2F8h～2FFh、3E8h～3EFh、338h～33Fh より選択
PCJOY	201h *1　の1バイトを使用

*1 : Windows95上では、110h,120h,130h､20Fhに変更可能

・PC-9821シリーズの割り込みレベルとDMA使用状況（一例）

パソコン本体		割り込みレベル(INT)									DMA チャネル			
		0	1	2	3	41	42	5	6	無し	#0	#1	#2	#3
マウス									●					
IDE 内蔵ハードディスク					●									
内蔵サウンド機能								◎						
内蔵フロッピィディスク I/F	640KB					△								△
	1MB/1.44MB						●						●	
TVチューナボード				●										
FAXモデム			●											
2nd CCU			◎											
赤外線通信機能			◎											

●出荷時設定（パソコン本体の取扱説明書などを参照してください。◎の部分は解放可能な場合があります。）

△解放可能（PC-9821シリーズのシステムセットアップメニューまたはディップスイッチで、フロッピィディスクモードを「1M」に固定｛SW3-1 ON,SW3-2 OFF｝すると解放されます。この場合でも 2DD(640KB/720KB) のディスクはアクセスできます。）

・各種PC-9821シリーズ対応PCカードのI/Oポートアドレス使用状況（一例）

PCカード	I/Oポートアドレス				備考
	xxD0h	xxD4h	xxD8h	xxDCh	
PCSC-V			**xxD8h～xxDF**		xx=E0hまたはF0hで設定可能 338h～33Fhまたは308h～30Fhでも設定可能
PCFM,PCMLシリーズ	**0xD0h**				x=0h～3hで設定可能
PCJOY	※				※ 4D2hの1バイトのみ使用



注 意

使用可能な割り込みレベルやDMAチャネルの数は限られています。このため、PCカードを多く使用しようとすると、重複が避けられない場合があります。この場合は、重複の避けられないPCカードと併用できません。それらのPCカードを必要に応じて使い分けてください。また、I/Oポートアドレスの使用状況は、各PCカードの取扱説明書を参照して確認してください。

併用するPCカードの割り込みレベルがIRQで表記されている場合は、下表でINT表記との関係を確認してください。

INT 表記	INT 0	INT 1	INT 2	INT 3	INT41	INT42	INT 5	INT 6
IRQ 表記	IRQ 3	IRQ 5	IRQ 6	IRQ 9	IRQ10	IRQ11	IRQ12	IRQ13

付2 ハードウェア仕様

LANアダプタカード	CBET/TX
LANコネクタ	RJ-45
メディアタイプ	100BASE-TX(RJ-45),10BASE-T(RJ-45)
伝送方法	ベースバンド方式
アクセス方法	CSMA/CD
転送レート	100Mbps/10Mbps
IRQ（割り込み）	INT A, BIOS IRQセットアップによる自動設定
I/Oポートアドレス	自動検出設定
使用温度範囲	0℃～55℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
使用湿度範囲	10%～90%(結露しないこと。パソコンの動作する湿度範囲であること)
消費電流(MAX)	100BASE-TX/10BASE-T: +3.3V±5%/520mA
サイズ	132.4×71.1 mm

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (フロッピィディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■郵便

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「CBET/TX」係　宛

■電話

電話番号　東京　03-5256-2010

受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■オンライン (パソコン通信)

インターネット　http://www.iodata.co.jp/
IOS-NET　アイ・オー・データ機器フォーラムのサポートセンター
NIFTY-Serve　アイ・オー・データステーション(SIODATA)サポート会議室

IOS-NETのアクセスポイントや概要については「サポートソフトのバージョンアップ」をご覧ください。

LAN製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOSーNET

アクセスポイント

東京　03-5295-6570　　大阪　06-368-2291
金沢　076-234-9811　　VTX(*) 166-77100

『アイ・オー・データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。

(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし,8bit DATA,ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1, X ON,ｼﾌﾄ制御なし)				
使用文字コード	シフトJIS		制限時間	30分	
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　　http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY-Serve　ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ9(LIB 9)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「CBET/TX」　バージョンアップ係　宛
電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社PLANTコールセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANTコールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

  住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
  株式会社アイ・オー・データ機器
  「CBET/TX」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、発送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

CBET/TX 取扱説明書
1998.Feb.19 5191-02
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1997-1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVerシールをお貼りください

Verシール